

平成28年度

箕輪町農業関連施策等に関する意見書

平成28年11月8日

箕輪町農業委員会

貴職におかれましては、町の人口減少・少子高齢化による社会経済情勢により大きな転換期の中、新しい時代にふさわしい力強い箕輪町を築くため、日夜御尽力されておりますことに敬意を表すものであります。

さて、平成28年4月に施行された農業委員会等に関する法律では、農地法に基づく審査などの従前からの業務に加え、「農地等の利用最適化の推進」が農業委員会の必須業務として位置づけられ、遊休農地対策として農業者等が行う遊休農地を再生利用する取組みを推進するとともに、再生利用可能な遊休農地を農地中間管理機構との連携により、利用増進を図ることが求められるようになりました。

加えて、新しい時代を切りひらく意欲ある多様な担い手や、農業経営のノウハウを持つ人材を育成していくことも重要であります。

当農業委員会は、農地に関する相談や遊休農地対策などの日ごろからの活動、また、人・農地プランでの地区懇談会などを通じ、町内農業者の声を幅広く聴き、農業行政へ活かしてもらうなどの橋渡し役も担っております。

平成29年度予算編成時期にあたり、箕輪町の基幹産業の一つである農業が、魅力ある産業として維持・発展を遂げていくことができるよう、また、農業者や就農希望者及び後継者にとって希望ある農業となるよう環境整備を図るとともに、効果的で持続可能な力強い農業を育てるための施策について農業委員会等に関する法律第三十八条に基づき、意見書を提出します。

平成28年11月8日

箕輪町長 白鳥 政徳 様

箕輪町農業委員会 会長 柴 恒年

## 1 農業に携わる人の増加策及び農業の担い手の育成等に関する意見

(1) 機械搬入に難があるなどの耕作条件不利地は、農村風景の維持などの景観面はもちろん環境面からも、農地として守るべきところであり、こうした農地を耕作維持するための支援策の構築を望みます。

(2) 国は大規模農家中心の制度へシフトしていますが、農地の荒廃化などを防ぐためには、小規模耕作者が農業を維持することも必要です。こうした小規模耕作者に対する農業継続の支援策の構築を望みます。

(3) 退職後に農業に従事しようとする人や、他地域から農業を行う意思を持って移住する人に対する農地のあっせんや住宅取得助成、農業機械導入助成などの支援策の構築を望みます。

また、農業を開始間もない経営の安定しない若い世代の農業者の定着のため、農業者年金掛け金助成などの支援策の構築を望みます。

(4) 箕輪町の農業・農村風景の維持などのためには、農業後継者の確保が重要であることは言うまでもありません。農業者の高齢化が進むなか、定年後農業を始める人や移住し農業を始めたい人などに対し、サポート体制の構築を望みます。

また、既存の農業組織や団体との連携体制の強化及び支援についても一層進めるよう望みます。

(5) 農業の持続的発展には女性の力が欠かせません。六次産業化への展望などを含み、若い農業女子などを構成員とする新たな女性農業団体の設立に向けた支援体制の構築を望みます。

(6) 農業に対する興味を持つための、農業体験を中学校などの授業に取り入れ、食育につなげるとともに、現在行っているグリーンツーリズム事業の農業体験を一層充実するなど、農業に対する理解と興味を深める施策の構築を望みます。

(7) 町とJAとで政策的に設立した経過を持つ、農事組合法人みのわ営農は、今や新規就農者の育成をはじめ、高齢農業者の農地の受け手・作業受託と、町の農業対策になくしてはならない存在となっています。このため、みのわ営農の発展と経営基盤安定のための更なる支援を望みます。

## 2 耕作放棄地解消に関する意見

- (1) 耕作放棄地については、減少傾向にあるものの、解消の難しい農地もあり、耕作者への指導のみでは限界も感じられることから、支援制度の充実を望みます。

## 3 次期農業委員の選任に関する意見

- (1) 平成28年4月の農業委員会法改正により、次期農業委員は町長が任命する方式となります。任命にあたっては、地域の実情を考慮し、農業委員会の業務遂行に必要な委員数（定数の法定上限）とするとともに、女性の複数の登用を望みます。

また、新たに任命することとなる農地利用最適化推進委員についても、同様な考え方により必要な委員数とするよう望みます。

なお、現行農業委員の任期は平成30年3月31日までであり、次期委員の任命にあたっては、公募期間なども必要なことから、町関係条例や規定等の改正についても十分留意して対応するよう望みます。

#### 4 その他の事項

- (1) 近年になって、太陽光発電施設などをはじめ、大規模な農地改廃を伴う事例が見受けられますが、景観面や農業振興面からも、また人口増対策面からも箕輪町の土地の利用計画の一層の明確化を希望します。
- (2) 農業者・商工業者など皆が活性化できるよう町の魅力を集めた施設の早期設置を望みます。(例として「道の駅」など)
- (3) 農業委員の必須業務の増加などもあり、そのサポートを行う事務局体制について、特に兼務職員ではなく専任職員を増員するなど充実強化を望みます。また、次期選任される農業委員等の報酬等の処遇面については、業務量の増加に加え責任も増大していることなどを考慮し、配慮されるよう望みます。